

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や検査結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや検査結果を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

臨床材料から分離された *Corynebacterium* 属菌の病原性及び耐性化に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山 隆（病院長）

【研究責任者】 村上 忍（検査部 主任臨床検査技師）

【研究の目的】

感染症の患者さんは、血液や尿などを調べることにより、どのような菌によって病気になっているか調べることができます。それを、細菌検査と言います。当院では様々な材料から細菌検査を行った時に、*Corynebacterium* 属菌（コリネバクテリウム）を検出し、菌の種類を決める検査も行なっています。*Corynebacterium* 属菌はヒトの常在菌であり、ジフテリア菌のような毒素産生菌以外は病原性について詳細な検討が行われていません。しかし、近年 *Corynebacterium kroppenstedtii*（コリネバクテリウム クロップンスステディティ）のように肉芽腫性乳腺炎との関連が報告され、さらに多くの *Corynebacterium* 属菌と感染症との関連性が注目されるようになっていきます。また、抗菌薬に耐性を示す菌株も検出されています。

従いまして、各種臨床材料から分離された *Corynebacterium* 属菌について、菌種の同定、薬剤感受性検査および耐性遺伝子・病原遺伝子解析、さらに疾患との関連性について調査・検討が必要と考え調査します。

この研究により感染症治療における有用な情報が得られ、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2017年1月から2025年12月の間に当院で *Corynebacterium* 属菌が分離された患者さん

（検討内容）起因菌と考えられた *Corynebacterium* 菌種の同定、薬剤感受性検査、耐性遺伝子・病原遺伝子解析、疾患との関連性について解析を行なう。

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、基礎疾患、既往歴、感染病態、血液検査データ、画像検査データ、治療抗菌薬 等

(利用する試料) 臨床材料から分離された *Corynebacterium* 属菌

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の試料は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、すでに匿名化されている場合は、除くことができませんのでご了承下さい。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院検査部 村上 忍

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院検査部 村上 忍

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5621